

# 南極観測船「宗谷」

発行  
豊島区立  
豊成小5年  
長崎大晴

## 南極観測船とは？

南極への物資供給・人員派遣や観測・実験任務にたずさる船のことです。

任務の中でも特に重要なのは南極の東オングル島に位置する観測地点「昭和基地」への物資供給です。

昭和基地では約60名の観測隊員たちが過酷な環境の下、気候生態系、天体等に関する研究調査を行っています。

基地への物資供給は、年に一回だけ。もしこの供給が途絶えたら、南極という極地で暮らす隊員たちが生活できなくなってしまうため、非常に重要な任務です。

## 南極はどこなところ？

南極は地球で一番寒く、人間の活動がほとんど行われないため、地球環境を正確に観測できる貴重な場所です。

〔基地の平均気温〕

夏 マイナス1度

冷蔵庫くらい

冬 マイナス20度

冷凍庫くらい

昭和基地



実際に行ってみよう！

・船の科学館(別館)

・南極観測船「宗谷」

東京国際クルーズターミナル

デジタルコンテンツもできるので、自宅からでも学ぶことができますよ。



本館は船の形



## 南極観測船になるまで

昭和年月日	歴史
11年	川南工業香焼島造船所でワビエト連邦(ロシア連邦)向けに氷の海を航海できる耐氷型貨物船として建造。
13年 2/16	「ボロヤエツ」と名付けられて進水。
6月	様々な事情で、辰南商船の「地領丸」という名前に変更。
15年 2月	日本海軍に所屬して、測量を行う「特務艦」となる。
6/4	「宗谷」と名付けられる。
20年 10月	※太平洋戦争中、常に最前線で戦い続け、奇跡的にも生残った。
24年 12/12	引揚げ船として輸送業務開始。
25年 4/1	海上保安庁灯台部に移籍。灯台補給船となる。

\*「宗谷」という名前の由来\*

日本海軍の特務艦の名前は海峡名を用いるのが習わし。そこで耐氷構造であることから、

北海道の宗谷海峡

にちなんで「宗谷」と命名されました。

宗谷海峡



## 「宗谷」の活躍

昭和年月日	歴史
31年 11/8	第一次南極観測隊出航式。東京晴海小頭を出発。
32年 1/24	南極大陸沖の島に到着。
1/29	東オングル島に上陸。
2/15	元号にちなんで「昭和基地」と命名。計4棟を建設する。
2/15	越冬隊員11名を残して日本へ帰還。(その後収容)
33年 2/24	第二次隊、悪天候と厚い氷にはばまれて越冬観測を断念。大ぞり用のカRAFT大15頭が昭和基地に残される。
34年 1/15	第三次隊が越冬、再会。カRAFT大タロ・ツロ生存発見。
10月	第四次隊、やまと山脈初調査。
11月	第五次隊、南緯79度までの内陸調査。
36年 10月	第六次隊、昭和基地を閉鎖。東京日の出桟橋に帰港。
37年 4/17	

「宗谷」は六回に及ぶ南極観測船の役目を無事に終えました。

その後北海道で巡視船となり、

北の海の守り神と呼ばれました。

南極観測は「ぶじ」「しらせ」「しらせ」(Ⅱ)へと、今も引き継がれています。



**ヘリコプター甲板**  
第3次南極観測当時、大型ヘリ2機、小型ヘリ2機、テハビランドビーバー航空機1機も搭載していました。まるで「航空母艦」のようでした。



### 操舵室

船の操縦を行なうところです。方向を定める舵輪や、主木機の出力をコントロールする

エンジン・テレグラフ等、さまざまな操船・

航海計器が配置されています。

### 「宗谷」

南極観測船用に改造された

### 砕氷船

(水面の氷を割りながら進む船)。

「宗谷」の色は「アラートオレンジ」。

雪と氷で白一色の南極において、最も発見しやすい色です。

昭和基地も同じ色に

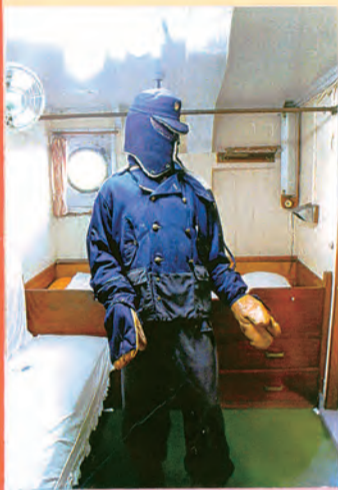
塗装されています。



### 航空長室

空からの氷状観測や物資の空輸など、航空

関係の業務は重要な任務の一つでした。



### 通信室

南極観測当時、無線通信は日本との唯一の交信手段でした。「宗谷」のコールサインは「JDOX」です。



### 居室

観測隊員用の居室と科員(一般船員)の居室があります。2段ベッドが置かれて、2人部屋になっていました。6回の観測を通じて、観測隊員と科員の総数は、ほぼ

130名でした。



### 調理室

揺れる船内で毎日130名分の食事を準備するのは大変でした。船内の食堂は、会議室や女呉染室としても使われました。



### 船長室

船の最高責任者が船長です。

船長公室、寝室、浴室で構成されています。



### カラフト犬

第1次南極観測は

犬ぞり用に訓練されたカラフト犬22頭もいっしょでした。

「宗谷」にはたった1部屋だけエアコンのきいた部屋が作られました。それが犬たちの部屋です。二か月の航海の間に熱射病にならないようにするため、犬室の設備には3000万円のお金がかけられました。

タロとジロは南極で何を食べて生きていたのでしょうか。

実は…アザラシのふんだといわれています。



- 〈参考資料〉
- ・『船の科学館 資料ガイド3 南極観測船 宗谷』
  - ・『南極から地球環境を考える1 南極観測のひみつ Q&A』
  - ・国立極地研究所(丸善出版)
  - ・『タロとジロ 南極で生きぬいた犬』
  - ・東多江子(講談社青い鳥文庫)
  - ・船の科学館 公式ホームページ (funenokagakukan.or.jp)

\*写真はすべて母が撮影しました。

感想 タロ・ジロの本を読んで、南極観測船に興味を持ちました。本で調べるだけでなく、実際に自分の目で見たら、船に乗ったりしたこと、船のおもしろさと奥深さを実感できました。この体験を新聞を通して多くの大人へ伝えたいと思います。工夫しながらまとめました。

今、兄のタロは北海道大学、弟のジロは「国立科学博物館」にいます。ジロに会いに行きたいよ。



↑忠犬ハチ公もいっしょ

映画「南極物語」でも有名。カラフト犬タロ・ジロは今?? 見測隊員といっしょに南極に行きた。タロ・ジロの二頭の生存が確認されて、日本中が感動に包まれました。